



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年 弥生1日
第21号
校長 矢野 晴一

学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」



「来年度に向けて・・・！」

～ 学校運営協議会評価を受けて ～

本年度の教育活動を振り返り、来年度の教育活動を充実させていくことを目的として、学校運営協議会のみなさまからご意見をいただきました。

小郡市内の小・中学校では、「小郡市教育施策実施計画」にもとづき、【①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 ④特別支援教育の推進 ⑤専門性の高い教職員の育成 ⑥地域とともにある特色のある学校づくりの推進 ⑦人権・同和教育の推進】という大項目において自己評価を行います。

そして、結果を分析し、成果と課題を明らかにします。その後、学校運営協議会で検討していただき、来年度の教育活動に生かしていくようにしています。

紙面の都合上、主な課題と具体的方策について、みなさまにお知らせします。

春風や このひととせを ふりかえり
希望を胸に つぼみふくらむ
晴一

1 確かな学力の育成について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○昨年度末からの困難な情勢の中、力を尽くしていただいている先生方に感謝している。 ○コツコツ努力することの大切さを「積小為大」の合言葉のもと、しっかりと積み重ねている姿勢を感じることができる。	○授業アンケートをもとにした授業改善や授業研究の充実に取り組みます。 ○本校独自の取組である「学びの10か条」や「小中連携リーフレット」等の活用を促し、自学自習の質を高めていきます。

2 豊かな心の育成について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○子どもたちはたいへん落ち着いている。あいさつもできていると感じる。 ○いじめ・不登校等に関して、早期発見、兆候の段階からの対応が大切だと思う。	○「あいさつ」「清掃」「整理整頓」「5分前行動」「聴く姿勢」「立腰」の徹底に努めます。 ○差別やいじめを許さない仲間づくり、集団づくりに努めます。

3 健やかな体の育成について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○制限があると思うが、成長期に身体を鍛えることはとても大切である。 ○「食育」等の健康教育については、家庭との連携が不可欠であると思う。 ○けが等がないように、自転車通学の安全を願う。	○陸上・駅伝並びに合唱等に全校をあげて取り組みます。 ○健康に過ごすための基本的な生活習慣の確立に努めます。

4 特別支援教育の推進について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○特別支援学級等での丁寧な対応により、すべての子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができていると思う。 ○保護者との連携や円滑な学校間接続の取組が大切だと思う。	○個に応じた丁寧な支援に組織的に取り組んでいきます。 ○小中連絡会等において、情報共有するとともに、保護者との連携も深めていきます。

5 専門性の高い教職員の育成について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○タブレット使用の学習が始まるため、ICTを活用した授業の充実を願う。	○研修の充実や授業参観等における周知に取り組みます。 ○校内研究テーマに基づいた各教科等での具体的な実践に取り組みます。

6 地域とともにある特色のある学校づくりの推進について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○本年度は感染拡大予防のため、ほとんどの地域活動が中止となって残念である。来年度は、さまざまな活動ができるようになることを願う。	○地域と連携しながら、できることをみいだして取り組んでいきます。 ※特に、「ラブアース・クリーンアップ大原」は、なんとか実施にむけて努力します。

7 人権・同和教育の推進について

評価結果（成果や課題）	来年度に向けての具体的方策
○人権・同和教育の必要性を痛感しており、推進の継続を願う。 ○子どもよりも大人が変わらなければいけないことがたくさんあり、啓発が大切だと感じる。	○来年度も、学校・家庭・地域がつながりを深めながら、差別のない社会をつくっていくための努力を継続していきます。

「できることを少しずつ・・・」 水道の取っ手にみえる努力

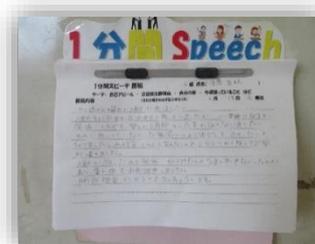
本年度の学校生活をふりかえると、例年とは異なり、ずっと「マスク着用」「こまめな手洗い・消毒」「朝の検温」等の日々でした。子どもたちも職員も感染予防に努めながらできることを考えて、日々の授業や体育大会・文化発表会等の行事を行ってきました。常に、「何かできることはないか」と考え、この2月から子どもたちが使う水道の取っ手を全部レバー式に変更しました。この夏に改修工事を行いましたトイレについては、すべてレバー式になっています。

先日来校された業者の方から「大原中の生徒さんは、ものを大事に使ってくれているんですね・・・」との言葉をいただきました。子どもたち自身が、安心して学校生活を送るために、日頃から意識して努力してくれていることがわかり、とてもうれしくなりました。



小さいけれど大きな感動・・・その22 「積小為大」の心で

今がんばっていることは、「継続力」を高めることです。私は、一つのことを決めて継続することが苦手です。毎日3時間勉強すると決めていてもあまり続かないので、毎日2時間と決めて無理しない程度で続けています。勉強でも何でもコツコツと積み重ねることが大切だと思います。これからも毎日続けていくことを大切にしたいです。



3年生の教室前に、毎日行っている「1分間スピーチ」の原稿が掲示してあります。そこには、「今、がんばっていること」や「受験への不安な気持ち」等、「今、このとき」の子どもたちの思いや考えがいつぱいつまっています。

ある日、「コツコツと小さな努力を積み重ねることの大切さ」について述べている原稿が目にとまりました。まさに合言葉である「積小為大」を実践している姿に感動を覚え、心の中で「みんながんばれ!」とつぶやいていました。